

令和6年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和6年3月定例会

順序	議員名	要 旨
1番	櫻井 紀栄 (一問一答方式)	<p>1 当別町こども計画について 【質問のねらい】 国からこども大綱が示され、町もこども計画策定が行われる。こどもの声を活かし、願いの実現に向けた取り組みを実行可能な計画にするために、特にニーズと緊急度の高いと考えられるこどもたちの放課後の居場所づくりとこどもの権利を守る養育費について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) こどもたちの放課後の居場所づくりについて</p> <p>① 児童館機能について 児童・生徒同士が放課後の時間に屋内で自由に交流ができる環境整備が必要だが、こども大綱ふまえて児童館機能の必要性をどのように捉え、今後、町として盛り込んでいく考えはあるのか。</p> <p>② プレイハウスの運営工夫について 保護者の就労状況に関係なく、こども同士が交流できる場としてプレイハウスと児童館機能を付随させることは将来的な需要に対応する手段のひとつとして挙げられるが、どうか。</p> <p>③ 民間活力との連携について 民間開発事業として駅前ビルの計画の中に図書館機能を入れるといった話があったが、今後も民間の事業者と連携して事業を行う姿勢に変わりはないか。</p> <p>(2) 養育費について こども大綱には養育費に関する相談支援や取り決めの強化を図る、との記載はあったものの、詳細な養育費請求の件については言及されなかった。</p> <p>① 養育費が支払われないときに、自治体が働きかけをし、それでも支払いがない場合に立替払いをした上で、義務者に対して自治体が督促をする制度を取り入れてはどうか。</p>
2番	芳形 幸夫 (一問一答方式)	<p>1 介護サービスについて 【質問のねらい】 当別町の介護サービスの現状と課題について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 太美地区でデイサービスがなくなるなど民間介護事業の縮小がされ、介護サービスの低下が懸念されている。町全体にも影響があると考えますが、今後に向けてどのような計画・対応策を考えているのか、見解を伺う。</p> <p>(2) 介護保険のサービスに通院乗降介助サービスがあるが、通院困難者対策の改善を図るうえでも通院乗降介助サービスを行う事業所の誘致など利用につながる対策をとるべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p>

		<p>2 5類移行後のコロナ対応について 【質問のねらい】 5類移行後のコロナ対応について、町独自のワクチン接種の必要性を質す。 【質問項目】 (1) 5類移行後10ヶ月が経過、町内医療機関においても新型コロナ対応やインフルエンザに伴う診療が日々続けられていると聞いている。基礎疾患のある高齢者や介護・福祉施設及び医療機関に勤務するエッセンシャルワーカーの方々へ町独自に無料でコロナワクチン接種を行うことが必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>3 プレミアムクーポンについて 【質問のねらい】 プレミアムクーポンの販売に関して、その効果と取組み方法について質す。 【質問項目】 (1) 3万2千品以上に及ぶ食料品の値上げで物価高が続き、低所得者への支援が求められているなか当別町においてもプレミアムクーポンの発行がなされた。一冊5,000円・12枚で1セットの販売がされた、税金である交付金の使途としてプレミアムクーポン発行の効果をもどのように考えているのか、見解を伺う。 (2) 今回は販売という取組みであるが、特に低所得者にとっては他市町村で行っている一律支給という方法もあると考えるが、見解を伺う。</p> <p>4 北海道国民健康保険運営方針について 【質問のねらい】 道は令和12年度を目処に「保険料水準の統一」を目指すとするが、見解を質す。 【質問項目】 (1) 道は国民健康保険の運営方針を発表している、「全道どこに住んでいても同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料負担となるように、市町村が定める保険料率を道が示す全市町村統一の標準保険料率と同率にすることをもち『保険料水準の統一』を令和12年度を目処に目指す」とある。当別町にとってどのような影響があるのか、見解を伺う。</p>
3番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p>1 西当別支所の設置について 【質問のねらい】 太美出張所から支所として2024年7月よりサツドラ施設内に開設することとなった。住民に対して利便性の高いサービスを期待する。 【質問項目】 (1) 12月定例会の総務文教常任委員会で、支所の職員配置や業務の概要について説明を受けたが、現時点におけるそれらの検討状況は、具体的にどうなっているのか。 (2) 支所の配置などについて、今後、地域住民や西当別連絡協議会などへの報告や周知は、どのように行っていく予定としているか。 (3) 支所の多目的スペースの活用について検討状況はどうなっているか。また、町民からの要望が想定される、事務所等へのATMの設置</p>

		<p>やさウエーデン通りの横断歩道の設置は可能なのか。</p> <p>2 水道料金の今後の見通しについて 【質問のねらい】 北海道医療大学の移転による水道料金の影響について質す。 【質問項目】 (1) 移転が予定通り実行された場合、学校・学生・職員等の水道の使用水量が減ることで、給水収益にどの程度の影響が出るのか。 (2) 現状でも町民・移住者から水道料金が他の自治体より高いとの声を聞く。これ以上の料金値上げはないとの認識で良いのか。</p> <p>3 令和5年度 全国学力・学習状況調査について 【質問のねらい】 当別町学力向上プランの当初の目標が達成出来たか。児童・生徒の努力がどのような結果に繋がったのか。成果の説明と学習状況調査の中で生活習慣は、どのような傾向か。対策と対応を質す。 【質問項目】 (1) 令和5年度の全国学力の分析結果、課題の対策、今後どのような取り組みをしていくのか。 (2) ICT 機器の活用は、授業・授業以外にも有効に活用されているか。 (3) 学習状況調査の中で生活習慣は、どのような傾向か。その対策はいかに対応しているか。 ① 朝食を毎日食べているか ② 毎日同じくらいの時刻に寝ているか (4) 自己有用感の傾向として『自分には良いところがある』『将来の夢や目標を持っている』『いじめは、どんな理由があってもいけない』の項目で小・中共に全国平均を上回っていると聞かすが、どのような分析をしているか。 (5) 令和6年度の目標はどのように設定されているか。</p>
4 番	五十嵐 信子 (一問一答方式)	<p>1 当別町版地域包括ケアシステムと地域づくりについて 【質問のねらい】 当別町版地域包括ケアシステムは 2025 年(令和7年)を目途に地域の特性に応じ作ることを目指している。しかし現在地域の支え合いの一助となる地域の担い手不足も危惧されている。地域の現状と今後の取り組み、課題について伺う。 【質問項目】 (1) 当別町版地域包括ケアシステム構築の進捗状況と課題を伺う。 (2) 当別町版地域包括ケアシステムの構築には、医療・介護・予防・住まい・生活支援・地域支援サービスが切れ目なく提供できることが望ましい。関係機関との連携について現状と課題を伺う。また地域(町内会等)の活動も欠かせないと考えるが住民の認識をどのように感じておられるか伺う。 (3) 地域(町内会等)の担い手不足の現状と解消に向けた取り組みについて伺う。 (4) 活動に意欲的な地域(町内会等)をモデル事業として取り組み、他の町内会や住民と協力し高め合い支え合う環境づくりも構築してはどうか伺う。</p>

		<p>2 LED改修後のCO2・電気料の削減効果について</p> <p>【質問のねらい】 公共施設整備については二重投資とならないよう検討は欠かせないが、現状の課題も考慮して西当別コミュニティセンター等の体育館は早期にLED化に取り組むべきと考える。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各公共施設のLED化による効果を伺う。 (2) 現在使用している体育館等の照明からLED照明に変えた場合、電気料の経費削減となる結果であれば早期に改修するべきと考えるが伺う。 (3) 町内会街路灯LED化事業も進んでいるが早くに工事を行ったところは交換の時期がだんだんと迫ってきております。今後の事業のあり方や補助金の見通しを伺う。
5番	佐藤 立 (一問一答方式)	<p>1 こども基本法に定めるこども等の意見反映</p> <p>【質問のねらい】 令和5年4月1日施行のこども基本法を踏まえた当別町における、こども等の意見の反映の進め方について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 対象となる施策は多岐にわたるものと考えられるが、当別町において対象となりうる施策は何か。 (2) 多様なこどもの声を聴くように努めることが重要である。具体的にどのような措置を講ずるのか。 (3) こどもの意見の反映にあたっては、乳幼児や重度障害児、医療的ケア児、不登校など、声をあげにくいこどもから意見を聞く工夫や配慮も求められるが、当別町としてはどのように取り組むのか。 (4) こども基本法第2条においては、こども施策を法律ごとの事務事業の列挙ではなく、3つの類型にわけ概念的に整理している。この趣旨および、こども施策が多岐にわたることを踏まえれば、こども施策やこどもの意見反映等を包括的総合的に推進する体制を新たに設ける必要があるのではないか。 (5) こども施策の対象が多岐にわたることを踏まると、こどもの意見を反映させるため、オンラインを含めた常設の仕組みや場を設ける必要があるのではないか。 <p>2 インクルーシブを取り入れた公園整備</p> <p>【質問のねらい】 公園施設長寿命化計画に基づき、施設や遊具の更新がすすめられている。町民誰もが利用できる公共の公園においては、年齢、性別、言語、能力等、さまざまな個性や感性を持った人々が、分け隔てなく一緒に楽しさを共有し遊べるというインクルーシブの理念を取り入れた施設・遊具の整備が必要ではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 年齢、性別、言語、能力等、さまざまな個性や感性を持った人々が、分け隔てなく一緒に楽しさを共有し遊べるというインクルーシブの理念を取り入れた公園施設・遊具の整備をすすめる必要があると考えるがどうか。

<p>6 番</p>	<p>秋場 信一 (一問一答方式)</p>	<p>1 太美地区を含め、特に本町地区の宅地の提供など住宅問題をどのように進めていくのか以下伺う 【質問のねらい】 当別町は新たな課題に向き合ったまちづくりが求められる中、町長のリーダーシップのもとに移住・定住人口の獲得が最優先課題と捉え、現状の取り組みにとどまることなく近隣自治体を見据えたより優位性を高めていくべく町長の考えを伺う。 【質問項目】 (1) 人口減を止め、社会増を継続していくためには、移住者から選ばれる町にならなければならない。太美地区を含め、特に本町地区の宅地の提供など、住宅問題をどのように進めていくのか以下伺う。 ① 学園周辺の末広団地については、廃止解体に向け取り組みが進んでいるようだが、現状と今後の構想などのような考えを持っているか。 ② この大型用地は居住環境としては、宅地化に進めていくのが町の計画に照らしても是と考えるが地主との話し合いは持たれていくのか、また、契約上の縛りなど、どのようなハードルが想定されるのか。 ③ 公共施設管理計画から鑑み、昭和時代の用途廃止の公営住宅・公共施設など解体の計画に至ってない対象物件が多くあり、景観上、町のイメージを落としているが、放置のままではなく民間業者へのアプローチをとってはどうか。 ④ この大型用地は、居住環境としては宅地化に進めていくのが町の立地適正化計画に照らしても是と考えるが、地主との話し合いは持たれていくのか。また、契約上の縛りなど、どのようなハードルが想定されるのか。</p> <p>2 医療大移転後の空きアパートの借り上げについて 【質問のねらい】 町営住宅の更新について、今後は新築計画を一時凍結や見直しが必要と思われるが町長の考えを伺う。 【質問項目】 (1) 町営住宅の更新や改修など耐用年数を超えてなお存続し、入居者も点在している現状で解体を前提に転居をお願いする場合、アパートへの転居にどのような問題点が想定されるか。 (2) アパート組合からも借り上げの要望があると聞いたが、その際に国の補助制度があるとも伺ったが当別町にも使える制度なのか伺う。</p> <p>3 人口社会増を続けていくための商業地区のにぎわいある街づくりについて 【質問のねらい】 食店を含め商業者が事業を継続或いは新規事業者が開業を展開していくための動機付けになる取り組みを行政がしっかり支援していくことも重要と考えるが、現行の支援対策として町の低金利の融資制度や新築支援はあるが賃貸の開業支援には至ってない。 【質問項目】 (1) 新規創業者向けの家賃補助や店舗改修費補助など、町はそこまで取</p>
------------	---------------------------	---

		<p>り組んでいる姿勢を示していくことで町のアピールになると思うが、そのような取り組みも今後に向け考えはあるか。</p> <p>(2) 現状は物価高騰対策なども含め必要と考えるが、街のにぎわいづくりと消費の町内喚起を促すべく、プレミアム付き商品券などで町外流出を抑制し、消費の囲い込み対策を継続すべきでは。</p>
7番	角田 広祐 (一問一答方式)	<p>1 当別高校との教育連携について 【質問のねらい】 令和6年度(2024年度)公立高等学校入学者選抜(いわゆる高校入試)において倍率1.0倍となった当別高校との連携の考え方について伺う。 【質問項目】 (1) 当別高校普通科の倍率が1.0倍となった当別高校では、地域探求学習の推進やSNSによる情報発信強化、学校へのチラシ全配布など、生徒獲得に向けて不断の努力の賜物といえる。しかしながら志願者の内訳において、8割が町外からの志願者とのこと。来年度以降、当別町として高校とはどのような連携や協力体制を検討しているか。</p> <p>2 アフターコロナにおける公園遊具の取り扱いについて 【質問のねらい】 アフターコロナにおいて、町民が公園を利用する機会が多くなったが、修繕が間に合っておらず危険な状態。今後の修繕や更新計画について伺う。 【質問項目】 (1) コロナ第5類へ移行し、インバウンドを含めた来訪者が増加。町民も自粛が明けて外出が増加し、町内の公園に遊ぶ親子も増えているが、町内遊具の修繕が進んでいない。立ち入り禁止のテープを貼っていたが、それも切れている状況。予算案において阿蘇公園の修繕を計上しているが、その他の公園設備についても、早急に修繕や更新等整備をするべき。现阶段でその考えはあるかを伺う。 (2) 公園遊具を更新する場合には、障がいのある方にも配慮した「インクルーシブ遊具」の導入が望ましい。併せて、地域の防災拠点となる「防災公園」の機能を兼ねた、一体型の公園整備を推進するべきと考えるがいかがか。</p> <p>3 現庁舎の継続使用における課題について 【質問のねらい】 新庁舎建設移転について、検討委員会で「耐震補強に向けた検討が必要」という方針が示された。耐震強度のみならず、様々な課題の解決の方針を伺う。 【質問項目】 (1) 耐震補強だけではなく、庁舎の労働環境の改善も同時並行で行う必要がある。冷暖房設備の設置も職員の労働環境改善において必須項目であると考え。町長の考えを伺う。</p> <p>4 災害時の通信インフラ確保について 【質問のねらい】 令和6年能登半島地震において情報インフラの破断による災害情報取</p>

	<p>集の遅延が問題となった。同様のことが町内で発生した際の対策について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 令和6年能登半島地震において、家屋倒壊、津波、土砂崩れなど、甚大な被害が生じた。特に通信回線がケーブル破断や停電による中継基地局の電力喪失により、現地情報の集約が遅れ、被害の把握に時間を要したことで対応が遅れ、今後の課題となった。当別で災害が発生した際に、通信インフラの確保についてどのような対策を準備しているかを伺う。</p> <p>(2) 厳冬期の電話ボックスについて、町内の一部の電話ボックスが雪に埋まり、使えない状態となっている。除雪は管理会社で行っているが、定期巡回による除雪、修繕が基本となっているため、豪雪が続いた後、使用が困難な状態が露見された。災害時の通信インフラ確保の一環として、電話ボックス除雪の方策について伺う。</p>
--	--

【計7人、3時間30分（1人30分計算）】